

センター通信

「自主的」な取り組みと「経験」



伊丹市立北中学校
少年進路相談員 吉田 博子

少年進路相談員を引き受けて2年目。最初は、学校での打ち合わせ、少年愛護センターでの会議や研修に、右も左もわからない状態で参加しているだけだった。そのうち慣れ始め、意見交換するときには自分の経験等を思い出し、それがヒントになり、そこから考えが浮かぶというようなこともあった。その結果、言われたことをただしていくということだけではなく、多少なりとも新たな活動に繋げることができたように思う。

何事も「自主的にやらなければ身に付かない」という言葉をよく耳にするが、「他から言われなくてもやるべきことを自分の意志でやる」これは、それまでの経験があつてこそできるものだと思う。例えば、漢字テストをいつする、範囲はここ、と示した場合、高校生ともなればこれまでの経験から自分なりのやり方で対応できるだろう。しかし、これが小学生であったとしたらどうだろう。中には自分なりにしっかり取り組める児童もいるであろうが、やはり、多くの児童にはどんな風に学習したらよいのかを示し、できていることを確認するといったきめ細かな指導があつてこそ、その児童なりに結果が出せるものだと思う。そこには、ある程度の“強制”が入ってしまうが、何をどうしたらよいのか分からない子どもに、自分の意志でやらないと意味がないと気づくまで放っておくのは、いくら時間があつても足りない。自分で気づくことも大切であるが、示してもらった具体的なやり方で学習し、期限を守って提出、評価をして返却してもらい復習もしていく、この経験の積み重ねから、「自主的」な取り組みとはどういうことなのか、ということに気付くのではないだろうか。

現在私が務めさせていただいている少年進路相談員の場合も、やるべきことは示していただいております、分からないことは相談して教えていただいている。だからこそ、それを受けてどう動いたらいいのかを考え、さらにこういった活動はどうだろう、と発展的な考えも浮かんでくる。やはり、周囲の支えがあつてこそ自主的に行動できるようになるというのは、大人でも子どもでも変わらないものなのだと感じている。

中学を卒業すると義務教育は終わり、子どもはある意味解放された生活となる。自由と言えば自由であるが、逆に自分自身に責任を持って「自主的」に考えた行動が求められる。また、将来を見据え、どのように進むのが自分にとって最善の道であるのか、それを判断していかなければならない。子どもたちには、学校での学習と将来のこととは一見かけ離れたものに見えるかも知れない。しかし、自分が学習したこと、努力したことは、自分の将来に生かされるものだと私は思っている。それを、子どもたちが今想像することは難しいかもしれないが、頭の片隅にでも記憶してもらえたらと思う。同時に、子ども達がいろいろな経験を積み、自主的に取り組む力を身につけていくことができるよう、私たち大人も子どもたちに向き合っていきたいと考えている。

子どもたちに様々な体験を!

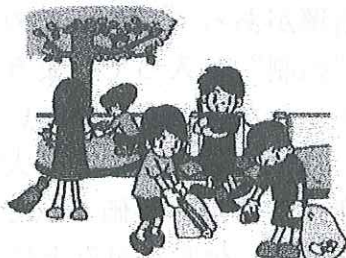
4月号(NO.325)の巻頭で、「子どもたちに生きた体験を」ということで少し書かせていただきました。もうすぐ夏休みになりますので、そのことについて少し触れてみたいと思います。

子どもが「学ぶ」のは、学校や習い事だけではありません。家庭・地域などの様々な場で、様々な体験や人とのかかわりを通して、「社会を生き抜く力」として必要となる基礎的な能力を身につけていきます。また、小さなことから失敗や挫折を経験していくことも必要です。

昨今は、大人が意識してさせないと、子どもの直接体験は少なくなりがちです。少し体験が不足しているかなと思われるなら、ぜひ子どもに体験の場を与えたり、一緒に体験したりしてみてください。

具体的には、まず「自然体験」です。例えば、ハイキング、山登り、虫とり、川遊び、磯遊び、魚釣り、野外炊事、星空観察等です。

次に「生活体験」です。例えば、お手伝い(家での仕事・役割)、地域行事や公園清掃への参加等が考えられます。お手伝いは、日常生活の中でできる貴重な生活体験です。お手伝いをしたからご褒美をあげるというやり方



よりも、「これは家族の中であなたの役割だよ」といった形で責任を持ってやってもらおうのがよいと思います。「ごみ捨て」の仕事であれば、出会った近所の方がきっと褒めてくれます。それは親が直接褒めるのとはまた違ったものです。親は子どもに感謝をしっかりと言葉で伝えます。

地域のみなさんには、地域で子どもたちのために

取り組んでいただいている行事や活動が、子どもたちの成長にとって貴重な体験となっているのだという認識を強くしていただいて、これからもそういう場を地域の子どもたちに提供していただけるとありがたいと思います。

就学前の子ども、小学校低学年・高学年、中学生などの発達段階や家庭の事情などによっても、できる体験は変わってくるかもしれません。それぞれの状況に応じて、できる体験を考えてみていただければと思います。「安全」は何よりも第一で!

◆街頭補導の件数 暫定値 《平成28年6月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	653	75	92	177	997
あいさつ	494	201	60	250	1,005
遊びに関して	12	11	2	0	25
ぐ犯・不良行為	2	0	7	0	9
交通に関して	33	23	42	74	172
計	47	34	51	74	206

◆電話・来所相談の件数 暫定値 《平成28年6月》

	電話相談	来所相談
件数	24	5
前月比	+14	+4
累計	44	6

◆有害図書類回収状況 暫定値 《平成28年6月》

	数量	前月比	累計
有害図書	139	-194	1,875
有害DVD等	314	-313	
計	453	-507	

白ポスト設置場所(市内16カ所)

裁判所前、JR北伊丹駅駐輪場、バラ公園バス停、荒牧バス停
北センター前、中野西公園、山田バス停、車塚公園内
阪急稲野駅、南センター前、阪急新伊丹駅、女性児童センター
阪急伊丹駅、いたみホール、西桑津バス停、JR伊丹駅1階

7月の主な行事

- 8日(金) 伊丹市少年補導委員連合会役員会・定例理事会
- 11日(月) 少年を守る日 市内広報・一斉補導
- 12日(火) 伊丹市少年進路相談員連絡会
- 13日(水) 夏季市内一斉愛護パトロール
- 予備日14日(水)

- 15日(金) 阪神地区青少年補導委員連絡協議会総会・研修会
- 21日(木) 第1回少年愛護センター運営協議会
- 27日(水) 宝塚市・伊丹市少年補導委員合同補導
- 29日(金) 有害図書回収
- 上旬~下旬 地区懇談会

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(Tel:780-3540)までお寄せください。